

# 『魂の殺人』



アリス・ミラー・著

上田真而子・訳

新曜社

本体2800円+税

山下公子

幼児虐待などが精神障害を生み出すことは、マスコミなどがサイコドラマとしてとりあげたことによって常識となっている。この本では、厳格なしつけやゆきすぎた教育熱が子どもの心理的な傷となっていくことを論証している。しかも本人がそのことを認めようとしなことが真実を覆い隠し、幼児虐待を受けた人物が、さらに自分の子どもに虐待を加え

ていったり、他者に対する憎悪として暴力を生みだす過程がよくわかる。

欧米に特徴的であるといわれたこの現象が、家族が解体していく日本でも今後増大していくことは確実である。

幼児教育が熱狂的ブームとなりつつあるなかで、この本が、親や教師に示唆するものは大きい。まさに必読書である。

(文/やまだしゅんじ)